



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3179回例会・2017年12月6日

本日のプログラム

新入会員卓話「信用金庫って何？」

北見信用金庫 理事長 金田 充郎 様

2017～2018年度国際ロータリーテーマ

『ロータリー:変化をもたらす』

R. I. 会長 イアン H.S. ライズリー

第3178回例会(11月22日)の記録

司会 岸本親睦活動委員長

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 舟山会長

先週の出張が札幌で日本保障コンサルタント協会北海道支部の40周年という事で欠席しましたが、来週は東京本部での40周年という事でまた水曜日に出張です。今月は5回目の水曜日という事で来週は特別休会になり、欠席が目立たないですみました。しかし、その次の週の12月6日にまた東京に行く事になってしまいました。実は、全道の道ネットという高速道路を作る為の各自治体の民間で作っている集団がありまして、国土交通省と財務省、そして北海道出身の代議士の方々に、「高速道路を早く繋げて欲しい」という要望をするという仕事がありまして、12月6日はまた休むという事で、佐藤副会長には大変ご迷惑をお掛け致します。今北見は小利別～訓子府間が開通しました。北見から十勝に延びていく道路というのが、網走開発建設部の枠の中では道路工事の仕事が無くなります。そして今瀬戸瀬～遠軽間で工事を行っていますが、それが来年か再来年で終ると大きな道路工事が管内から消えてしまいます。国の直轄予算で網走開発建設部の道路予算というのは今年200億円位出ています。それが2ヶ所とも無くなると公共事業が圧倒的になくなるという不気味さがやってきます。そこで端野～高野間の22kmを早期着工して頂きたいという事で、着工の前に委員会が3回開かれます。それが適正であるという事が上がって初めて実施測量に入るという事になるので、動き始めても22kmが繋がる迄に10年かかるであろうと言われていました。そこで、2回目を12月中に行って欲しいというお願いをしているのですが、未だ日程が確定しておりません。3月迄に3回目をやって頂くと来年度予算に高速道路を繋げる為の調査費がつき、そして測量費がついて、実施設計費がついて、用地買収をして工事を着工する、という事になるので数年掛かります。今の時期で1週間や1ヶ月遅れると1年や2年遅れるという難しい時期です。全国には高速道路を作りたいという場所は沢山ありますが、北海道の場合は全国が80%に対して未だ60%にも到達しておりません。私も公共事業に直接関わっている仕事をしているという事もある、是非とも声を大にして行って来たいと思っております。

幹事報告 岡村幹事

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届いております。

第3回マルチプル 丹尾会員

第1回マルチプル 松田会員



プログラム

会員卓話「ライラセミナー報告」

下元 陽司 青少年奉仕委員長



去る9月2日・3日に稚内の地で開催されました「第37回ライラセミナーin稚内」。このセミナーに関しましては太布会長、金田理事長、桑原社長、廻支店長、研修生のご参加誠にありがとうございます。ライラセミナーは本当に若い年齢で毎年開催しております。この稚内の地におかれましては、過去第20回を開催しまして今回で18年ぶりの開催という事になります。この度のライラセミナーに関しましては、ロータリアン55名、研修生76名、稚内のホストメンバーが48名、合計179名の参加であります。今回は稚内の色々な環境に関する課題をテーマに、課題をいかに変えてこの町に生かしていこうかというテーマの基に、様々な研修プログラムの手法を使いまして2日間に亘り協議して参りました。内容としましては、グループディスカッションで初めて会った研修生同士が一つのテーマに対して様々な意見を出して、大きな模造紙にそれぞれの課題や解決策を書いて議論をし、二日目に発表をするという内容となっております。1泊2日の中で、沢山の仲間と絆を深めあって、北海道各地の交流を深めて、感動の冷めない中で今日の発表会として頂きたいと思っております。

北見信用金庫本店 三上 裕 様

なぜ私がこのセミナーに参加させて頂こうと思ったかと申しますと、私は稚内という地に行った事がなく、どのような環

境に関する施設があるのか見学してみたいと思った事と、他業種の方々と会話する機会があまり多くないので、色々な方々と情報交換をしたいと思ひ参加させて頂きました。セミナーでは、先ず再生可能エネルギー施設の市内視察という事で、稚内の水道事業の電力を供給する風力発電施設やメガソーラー施設、地元稚内の勇知いもを熟成する為の雪氷冷熱施設を見学しました。夕方には南極地域観測隊員で稚内市の職員である市川正和氏に講演を頂きました。そして最後に地域環境の課題と解決策というテーマで9つのグループに分かれてグループディスカッションを行い、翌日には模造紙にまとめて発表という所まで行いました。そのセミナーの中で私が印象に残った事は、メガソーラー施設が稚内に設置された理由がとてもおもしろいなと思いました。稚内のメガソーラー施設は新エネルギー産業技術開発機構といった所の実証実験の為に設置されたそうです。なぜ稚内に設置されたかと言うと、自然環境において積雪や寒冷、強風といった気象条件が厳しい稚内の地で、大規模太陽光発電施設を設置する事によって様々なデータを取得出来るからだそうです。それを聞いて私はとてもおもしろいと感じました。また、グループディスカッションの中で、環境について様々な方から得意分野の話も聞けました。最後になりますが、この様なセミナーに参加出来る機会を頂きました北見信用金庫太布会長、金田理事長、そして稚内迄の送迎や現地でお世話になりましたロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。この経験をこれからの業務や社会活動に生かしていきたいと思ひます。

桑原電装(株)ドコモショップオホーツク網走店 柴野 あかり 様

初めての研修で色々な人と交流が出来るという事だったので、緊張とワクワクをしながら稚内へ向かいました。稚内へ行くのも初めてだったのでとても楽しみでした。研修の最初は稚内の視察へ行ってきました。一つ目に見学したのが太陽光発電のソーラーパネルを見て来ました。稚内のソーラーパネルは日本一の規模の大きさなので、やはり目の前にして見るととても大きくて迫力がありました。稚内は最北端なので風も強いので風力発電も盛んでした。稚内の環境に合わせて問題であった点もエネルギーへ変えるように研究を重ねて出来た事についても学ぶ事が出来ました。視察が終わった後にグループの人達で環境問題について議題を出し、グループディスカッションをしました。初めて会う方達でしたので最初は緊張しましたが、温かい人達ばかりですぐ打ち解けあう事が出来、皆で意見交換等もスラスラ進み、一つの作品を作り上げる事が出来ました。仲間意識が強くなった為、改善点等も交流が深められたからこそ言える指摘等も出来、私達の班は結構早く終る事が出来てとても良かったと思っております。最後に、ライラセミナーを受けてとても貴重な体験をする事が出来ました。研修で学んだ事を生かして、色々な人達と交流出来た事が全て良い体験になりました。この経験を糧にこれからも頑張ろうと思ひます。皆さん本当にありがとうございました。

上光証券(株)北見支店 北見ローターアクトクラブ 会長 四十物 逸 様

セミナー開催地である稚内市の地域の特性を生かした再生可能エネルギーへの取り組み方について関心を持ちました。市内視察を行った際にはメガソーラー施設と風力発電を見学させて頂きました。稚内市の年間平均風速が7mを超えていて、全国的にもかなり高い水準のデータという事でした。この風は普段生活する上ではかなり厄介なものかな、という感想もあつたのですが、それを逆手に利用して風力発電に生かすという事が、市としての取り組みとして良い事だと思ひました。メガソーラーシステムの視察を行った際も、冬の間は雪が太陽光を反射して発電力が上がるというデータが取られているとの事でした。積雪を弱点にするのではなく、利用して北海道の特性を生かして発電をしているという事がとても印象に残りました。また、夏場も雪の代わりにホタテ貝の殻を砕いた物を地面に敷き詰めまして、光の反射を使って雪が降っている時と同等の効果を得られるようにしているという工夫がとても目立つ視察になりました。環境都市として稚内を国内外に発信していくという、地域の特性や環境を生かした工夫を広げている点がとても参考になりました。次にグループディスカッションや懇親会での他業種の参加者との交流を通じて学ぶ所がとても多かったです。グループディスカッションでは、参加しているのは様々な業種や年齢のメンバーで、最初は会話もごちなくて意見も中々出ないような状況でありましたが、徐々に打ち解けて活発な議論が出来るようになっていきました。自分自身も積極的に発言する事が出来てすこく良かったと思ひます。また、懇親会では、グループのメンバーと通常業務では中々出来ない他業種の方々の仕事だったり、プライベートのお話をしながら、すこく盛り上がりまして話も弾みました。最後になりますが、引率して頂いた下元青少年奉仕委員長、青山ローターアクト委員長、送り出して頂いた廻支店長、ご支援頂いた北見RCの皆様、このようなセミナーに参加させて頂く機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。ライラセミナーに参加していなければ貴重な経験は出来なかったと思ひます。このセミナーで得た経験を生かしてリーダーシップを発揮していけるように努力していきます。

出席報告 高野出席委員長

| 出席報告 | 例会日 | 会員総数 | 出席免除 | 総出席計算数 | 例会出席免除者 | 事前メークアップ | 事後メークアップ | 確定計算出席数 | 出席率 |
|-------|-------|------|------|--------|---------|----------|----------|---------|----------------------------------|
| 計 算 式 | | A | B | C | D | E | F | C+E+F | $\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$ |
| 確 定 | 11/8 | 59 | 7 | 40 | 3 | 2 | 4 | 46 | 83.636% |
| 本 日 | 11/22 | 59 | 7 | 42 | 4 | 1 | — | 43 | 76.786% |

【次回12月13日】

「忘年家族夜間例会」

編集後記 隣国の動きも慌ただしいですが、平和が保たれます様に。

(Y.U)

2017～2018年度 北見R.C.活動方針

楽しく学び、楽しく実践しよう

2017～2018年度 北見R.C

●会長/舟山秀太郎

●幹事/岡村 金司

●週報編集/長屋 憲明

ローターアクトクラブとは

RC提唱の18～30歳迄の青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、目的は、個々の能力の開発に当って役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進する為の機会を提供する事です。